



白井澄夫*

安全・安心な社会を支える先端技術

The Advanced Underlying Technologies Behind a Safe and Secure Society

Sumio Usui

要 旨

安全・安心に対する社会の要請は年々高まっている。地震や気象災害などの自然災害をはじめ、事故や犯罪、食品や産業製品の安全性に関する問題など、現代の社会には多くの脅威が存在し、これらのリスクへの対応は社会の多くの分野において重要な課題になっている。

特に現在の我が国のように、都市化による人口・産業の集中が進む一方で過疎や少子高齢化の問題を持つ社会においては、大規模な災害や事故の発生を予測・予防するとともに、万一これらが発生したときには迅速な対処が可能となる社会基盤を整備することが、社会の安定にとって極めて重要となっている。現代の社会において、これら安全・安心を脅かすリスクに対処するためには政治や社会制度も

含めた幅広い取り組みが必要であるが、とりわけ、先端的な科学技術とその応用システムは、災害や事故の防止と万一の発生時の被害軽減において非常に有効な手段となり、さらに、日常生活の安心や高齢者・弱者の安全を確保する上でも様々な分野で活用されている。

本稿では、安全・安心な社会を実現するための課題とそれらを支える先端技術について概観する。また、位置情報を中心とした統合的なサービスであるLBS(Location Based Services)の概念を紹介し、これが安全・安心な社会を支える基盤技術として多くの分野で重要な役割を果たし得ることを述べ、三菱電機の取り組みの一端を述べる。



安全・安心な社会を支える先端技術

安全・安心な社会は多くの先端技術によって支えられている。人工衛星、3次元電子地図、GPS(Global Positioning System)などは、最もよく使われる先端技術の例であり、日常生活の安全から自然災害の防止に至るまで幅広い分野に応用されている。